

# 進捗報告書（実行団体）

事業名: 災害時に誰もが安心できる環境づくり  
資金分配団体: 一般財団法人日本未来創造公益資本財団  
実行団体名: 一般社団法人あゆみ  
実施時期: 2021年4月～2022年2月  
事業対象地域: 九州エリア

Version 1.2

日付: 2021年9月30日

事業対象者: 熊本県域子ども食堂運営者、第3期(半年後をめどに)九州各県の子どもネットワークの代表者を介して、各県の子ども食堂運営者、生活困窮支援者、子ども、親、高齢者、障がい者等、困り感のある方

## I. 事業概要

事業概要
○熊本市内の拠点となる重度心身障がい児さんの通所施設を受け入れ拠点とし、自家発電システム（走行充電・太陽光発電⇒リチウム蓄電池）の備わったキッチンカーを配置し、終日配電ができる仕組みを作る。 ○被災地で、多様な形で、炊き出しのできるキッチンカーを造作する。 ○シンポジウム等の開催 各種専門家を交え災害時に備えた講演会の実施、啓発活動や企業等との意見交換を開催する。 ○社会的弱者といわれる方たちへの理解を促すため、地域での炊き出しと共に勉強会の開催をおこなう。 ○通信設備を整えzoomやYouTubeなどでの防災やコロナ対策などの知識についての配信を行う。

## II. 進捗報告の概要

総括
○あゆみがある重心施設を、防災時の荷物などの搬入受け入れ拠点となるような整備を行う。 ○自家発電システム（走行充電・太陽光発電⇒リチウム蓄電池）の備わったキッチンカーについてのそれぞれの業者との打ち合わせを文書及び、電話などでの打ち合わせを10回程度開催。内金を入れたので、キッチンカー納品と同時に終日配電ができる仕組みができる。 ○被災地で、多様な形で、炊き出しのできるキッチンカーを11月半ばで出来上がり、内部や外装などの造作打ち合わせ中。 ○1月にシンポジウム等の開催 各種専門家を交え災害時に備えた講演会の実施、啓発活動や企業等との意見交換を開催する。 ○社会的弱者といわれる方たちへの理解を促すため、地域での炊き出しと共に勉強会の開催をおこなう。 ○通信設備をキッチンカーが来るのに合わせて行う。動画を作成し、配信を行う。

## III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
今回避難所、福祉避難所に行けないような要配慮者の方たちを中心に支援していく体制を作ることで、地域の要配慮者の方たちや、そのご家族が災害時も初期から安心して過ごせる仕組みを作る。また初期初動で、電気の供給が終了後は直ちに炊き出しのできる体制に移行し、要配慮者を中心に温かな食事をとることのできる仕組みを作り、日頃から訓練を行い、子ども食堂と連携し次の支援者が来るまでの支援を行う。	現在は、各県の重症児さんをお預かりする施設の中で県単位で2カ所ほど、災害が起こった時に中心的に自分が住む県の全体的な情報収集ができないかの打診をしている。 また全国のネットワークでも災害時の状況把握ができる仕組みを構築中。  災害時にすぐに動けるように、キッチンカー、太陽光発電、手洗い機を発注済み。 熊本では炊き出しのボランティアさんたちと複数回訓練済。それを基にキッチンカーが到着し次第各県の子ども食堂と連携し、炊き出しの想定訓練と、防犯講座を行う。

活動	進捗状況	概要
・蓄電・キッチンカーの整備事業 ・キッチンカーの準備 ・説明会・講習会・研修の実施 ・チラシ配布、HPの充実 ・講演会の実施 ・災害時支援コーディネーター配置	遅延あり	・蓄電・キッチンカーの整備事業 11月後半納車 ・キッチンカーの準備 打ち合わせ済 ・説明会・講習会・研修の実施 講習会・研修熊本実施 ・チラシ配布、HPの充実 打ち合わせ中・納車後 ・講演会の実施 1月開催予定 ・災害時支援コーディネーター配置 野村他連絡調整中

#### IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>(団体として、事業実施後（1年以降）に目標とする状態への指標等を設定している場合、ご記載下さい)</p> <p>各県の重心施設さんとの連携ができています。災害時の情報が入る仕組みができています。</p> <p>各県の子ども食堂さんとの連携ができています。炊き出しが可能な団体さんをいくつか見つけておく。</p> <p>災害時に連携をして、各県の炊き出しなどにキッチンカーや、人材をつなぐことができるようにする。</p> <p>キッチンカーなどの経費を捻出できる仕組みを作っておくことで、継続的な事業の実施が可能になる。</p>	

#### V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥11,685,856	¥11,685,856	¥3,593,037	31%
	管理的経費	¥0	¥700,000	¥700,000	¥0	0%
合計		¥0	¥12,385,856	¥12,385,856	¥3,593,037	29%
補足説明		<p>管理的経費に関しては、人件費を社あゆみから支払っているが資金を移動できていない。</p> <p>直接事業費に関しては、予定しているフェスタ関連費用、人件費の執行がまだということと、キッチンカーの半額と関連費用の未執行が執行率の低さの理由です。</p>				

#### VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>リスクは実際に災害が起こった時にどこにつながり支援するかがその時の状況により柔軟に行う必要があると思われるが、実際動かすにあたり重症児施設さんと話しても「自分の施設に応援に来てくれる仕組み」であると思われやすいことが分かった。子ども食堂でも同様のことが考えられるので、今後の後方支援の仕方についてもわかりやすく説明する必要があると思われる。</p>

#### VII. その他

自由記述

#### VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	無	WOTAプレスリリース中
広報制作物等	無	
報告書等	無	

#### IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	はい	